

「白山市仕事と生活が調和する優良事業所表彰」 応募用紙

令和 年 月 日

(あて先) 白山市長

(応募事業所)

所在地 〒 -

名 称

代表者名

(推薦者) ※自薦の場合は記入不要

所在地 〒 -

名 称

代表者名

白山市仕事と生活が調和する優良事業所表彰要綱に基づき、関係書類を添えて応募します。

■企業の概要				
業種	業	設立年月	年	月
事業内容				
経営方針				
従業員数	人	(男性	人、	女性 人)
	(内訳) 正社員	(男性	人、	女性 人)
	パートタイム	(男性	人、	女性 人)
	契約社員	(男性	人、	女性 人)
	その他	(男性	人、	女性 人)
担当者	部署		TEL	
	役職		FAX	
	氏名		E-mail	

※下記の資料を添付してください。

- (1) 就業規則の写し（育児・介護に係る規則を含む）
- (2) 一般事業主行動計画の写し
- (3) 企業パンフレット、社内広報誌、チラシなど

■職場環境の整備の取組み			
1.	応募年度前過去3年以内の労働関係法令（労働基準法、育児・介護休業法、男女雇用機会均等法など）違反の有無	☐ 有	☐ 無
2.	一般事業主行動計画の策定の有無	☐ 有	☐ 無
3.	一般事業主行動計画に基づく全ての取組みの実施の有無	☐ 有	☐ 無
4.	年次有給休暇の状況（小数点第1位まで記入）		
(1)	1人あたりの平均付与日数（繰越は含まず）	①	R6 日 R7 日
(2)	1人あたりの平均取得日数	②	R6 日 R7 日
(3)	年次有給休暇の取得率（②／①×100）		R6 % R7 %
(4)	年次有給休暇の取得促進のための措置の有無 （※年間取得計画の策定、取得日数等の目標設定など）	☐ 有 ☐ 無	
(5)	(4)が有の場合は、その内容を記載願います。また、その他独自の休暇制度があれば記載願います。	(内容)	
5.	所定外労働時間の状況（小数点第1位まで記入）		
(1)	1人あたりの平均月間総実労働時間	①	R6 時間 R7 時間
(2)	1人あたりの平均月間所定内総労働時間	②	R6 時間 R7 時間
(3)	平均月間所定外労働時間（①－②）		R6 時間 R7 時間
(4)	所定外労働時間の削減のための取組みがあれば記載願います。	(内容)	
■育児休業や介護休業等の制度を利用促進するための取組み			
6.	育児・介護休業法に規定する制度の状況		
(1)	育児・介護休業法に規定する制度を就業規則等で定め、従業員へ周知している	☐ はい ☐ いいえ	
(2)	男性従業員の育児休業取得者数	R6	人 R7 人
(3)	女性従業員の出産者数	①	R6 人 R7 人
(4)	女性従業員の育児休業取得者数	②	R6 人 R7 人
(5)	女性従業員の育児休業取得率（②／①×100）		R6 % R7 %
(6)	子の看護休暇制度の利用者	R6	人 R7 人
(7)	介護休業・休暇制度の利用者	R6	人 R7 人
7.	育児・介護休業法の規定を上回る制度の状況		
(1)	法の規定を上回る制度や、独自の制度があれば記載願います。	(内容)	

■雇用安定や処遇改善のための取組み

8. 正社員について

(1) 正社員の採用状況

R6

人

R7

人

9. 非正規従業員について

(1) 非正規従業員に対してのスキルアップ研修等の実施

☐ 有

☐ 無

(2) 非正規従業員から正社員への登用実績

R6

人

R7

人

(3) 正社員化に係る取組み
があれば記載願います。

(内容)

■障害者雇用や高齢者継続雇用を推進するための取組み

10. 障害者雇用について（障害者雇用状況報告書による）

(1) 法定雇用障害者算定基礎となる労働者数

①

R6

人

R7

人

(2) 常用雇用障害者の数

②

R6

人

R7

人

(3) 障害者雇用率（②／①×100）

R6

%

R7

%

(4) 障害者に配慮している
取組みがあれば記載願
います。

(内容)

11. 高齢者継続雇用について

(1) 65歳までの雇用機会の確保措置の有無

☐ 有

☐ 無

(2) 70歳までの就業機会の確保措置の有無

☐ 有

☐ 無

(3) 上記(1)、(2)に対する取
組みについて内容を記
載願います。

(内容)

(4) その他高齢者に配慮
している取組みがあれ
ば記載願います。

(内容)

■男女雇用機会均等や女性の能力を活用するための取組み

12. 男女雇用機会均等に関する取組み

(1) 女性管理職（係長相当職以上）の登用人数

R6

人

R7

人

(2) 各種ハラスメント防止
のための取組みがあれ
ば記載願います。

(内容)

(3) 男女の雇用格差を解消
するための取組みが
あれば記載願います。

(内容)

■男女雇用機会均等や女性の能力を活用するための取組み

13. 女性の能力を活用するための取組み

- (1) 女性が意欲的に働きたくなるような取組み、女性の能力を活用するための取組みがあれば記載願います。

(内容)

■その他、仕事と生活が調和する活動を推進するための取組み

14. 次世代育成支援対策に関する取組みについて

- (1) 地域貢献活動や子どもや学生への就業体験機会の提供、工場見学や体験教室などを実施している取組みがあれば記載願います。

(内容)

15. その他の取組みについて

- (1) その他働き方の見直しに資する取組みや企業としてPRしたい取組みがあれば記載願います。

(内容)